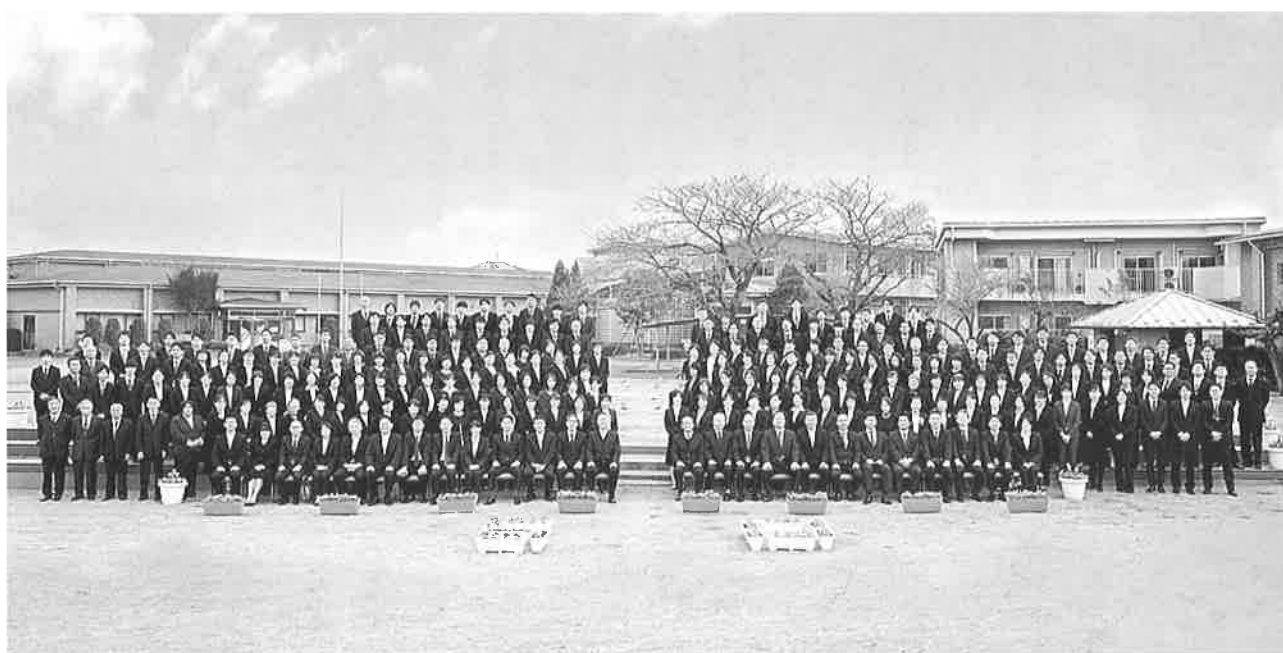


はばたき

2023. No. 97

想いをのせて



大久保学園の風土

大久保学園 支援課長補佐

筋野 進

大久保学園は今年で創立52年目を迎えました。私はそのうちの26年間を携わらせていただきましたが、今の年齢（48歳）のうちの26年と考えると、人生の半分以上はこの法人にお世話になっているものと改めて感謝の思いを強く感じます。これから先輩方から引き継がれてきたこの大久保学園を次に繋いでいく担い手となるよう心して業務に励んで参りたいと思います。

冒頭でも述べましたが、この大久保学園の業務に就いて26年が経過しようとしています。学生時代、福祉というものを全く知らなかった私がここまで仕事を続ける事が出来たのは、この法人が「寄り添う」という

言葉をとても大切にしてきたという風土があったからです。この「寄り添う」という言葉は利用者、家族、職員等、業務に関わる方の全てに当てはまります。その言葉通りに、先輩方は入職当初何も出来ない私にしっかりと寄り添って下さいました。その事が私自身にも徐々に浸透し、現在に至るまでずっと心掛けてきました。

昨年4月から配属先が大久保学園となりました。入職から21年間は大久保学園、その後の4年間はみどり園で業務に就きました。初めて異動を経験した時は不安と寂しさと多少の怖さがありましたが、今思えば、これからの自分にとって大変貴重な

経験でした。21年間過ごしたところ

からの異動は利用者、職員に対して

正直涙が出るくらいに寂しさを感じ

ましたが、迎えてくれたみどり園の

利用者、職員の方々は優しく寄り

添って下さいました。そして4年を

経て今年度から再び大久保学園に

戻ってきました。異動を告げられた

時には、寂しさの他に今の業務への

やり残し（悔い）が心にあるもので

すが、理事長から「悔いのない事な

ど無い。悔いが残るからこそ次に繋

がるものだ。」と教えていただきま

した。日頃から悔いのないようにと

生きてきましたが、悔いは残して当

たり前。そんな完璧には生きられ

なくて当たり前なんだと思う事が出

来て、少し肩の荷が下りたように感

じます。仕事が上手くなくても、と

にかく何事にも一生懸命頑張ろうと

する姿勢を後輩職員に見せられるよ

利用者は高齢になってきました。

私が入職当初から既に入所されてい

る方々もお年を召されてきました。

お互い年取ったなあと感じる今日こ

の頃です。これからこの方々に対し

てどのような支援をしていけるのか

が今の大久保学園での課題です。生

活の場も入所からグループホームへ

移行する事や老人施設への移行も方

法の一つであると思いますし、日中

は作業に固執せずにつくりと過ご

せるようにしていく事も一つです。

いずれにしても年はとったけど、生

き生きと穏やかにのんびりと生活し

てもらえるように考えていきたいと

思います。

職員みんなで「利用者、家族の期

待に応える」を合言葉に……。



新任内部研修

法人新任職員内部 研修会の感想

大久保学園

久銘次 真歩

今回の研修では、大久保学園の設立から現在、これからの未来についてのこと、そして先輩職員である係長から支援員として大切なことを学びました。

社会参加と就労を目指す法人として、障害があっても働くことを大切にしてきた大久保学園の歴史を知る事ができたと同時に、高齢化が進みこれまで行ってきた活動を見直していかなければならないといった課題も今回の研修で学ぶことが出来ました。また、グループ討議では、自分の意見を述べるだけでなく他者の意見や考えを聞く・知る事で、自分にはなかった考えや価値観を深めることができ、今後の支援について考えるいいきっかけとなりました。

今後、様々な場面で支援について悩むことがあると思いますが、今回の研修で学んだことを忘れず、仕事1つ1つ、利用者一人一人に丁寧に向き合っていきたいです。そして、これからは、50年にわたり法人が作り上げてきた支援や利用者との信頼関係を繋いでいくとともに、さらに深めていけるよう日々、試行錯誤しながら仕事に取り組んでいきたいと思えます。



法人新任内部研修会に 携わって

大久保学園 係長

江澤 智子

心地よい小春日和の季節に法人新任職員研修を行いました。今年度の開催は時期的に遅くなりましたが、6事業所から新任職員31名、協力職員の計47名が参加しました。

新任研修会の目的は、①法人の歴史、現在、未来を知る。②職員との交流。③参加者全員で会を作り上げていく。の3点でした。③の全員で会を作り上げていくという事については、新任職員といっても今は法人の一職員という観点からみんなで会場設営、弁当配布してもらいました。積極的に動く人、細かいところが目が行き届く人等様々でしたが、お客様ではなく一職員であるという自覚、チームワークで業務を進めていく意識がより芽生えたのではないかと実感しております。これからは地域福祉の核としての法人の役割を認識し、より専門性を高め「求められる職員」となれるよう共に頑張りましょうと申し合わせ、会を終了しました。

各事業所の催し

大久保学園



大久保学園のソフトボールチームでは利用者15名で活動しており、経験者も数名いますが、殆どが未経験者で構成されています。普段の練習では、守備練習と打撃練習が一度に出来る「シート打撃」を行っています。打撃面ではそれぞれ個性が豊かで、力強いスイングで長打を連発するスラッガータイプもいれば、しつかりボールをミートして内野手の間を抜こうとする巧打者タイプもいます。一方、守備面では上手くボールを取る事が出来なくても一生懸命打球を追い、何とかボールに食らいつこうとする姿が見られ、各々でソフトボールを楽しんでいるように思います。年間の大会は、主に9月に開催される千葉県ゆうあいピクニックソフトボール大会、4月と10月に開催されるロータリークラブカップの3つの大会に出場しています。千葉県ゆうあいピクニックソフトボール大会では現在も1部リーグを維持しており、ロータリークラブでは過去に準優勝という輝かしい成績を収めた実績もあります。大会になると緊張から普段のプレーが出来ない方もいますが、チーム一丸となって戦い、利用者同士で一緒に喜んだり悔しがったりする姿に感銘を受けます。今後の活動についても、皆が健康で楽しい活動が提供出来るよう努めていきたいと思っています。(大村)

ふなばし工房



令和4年度は少しづつ日常が戻り、外での活動も増えてきました。7月～9月には潮来水郷巡り・お笑い鑑賞・東京湾クルーズランチの計画を立て、日帰り旅行を少数で実施しました。3年越しの旅にその場所ではしか味わえない雰囲気を楽しませていました。また、明治神宮での販売や地元のお祭りなど中止されていたイベントが再開され、利用者・職員の励みとなっています。また、作品展をはじめイベントではお客様からおしかったとの感想を多く頂き、嬉しい限りです。今後も質の高い商品を作り、そして利用者の笑顔になるような活動に頑張つてまいります。(鈴木)



光風みどり園



光風みどり園では、去る11月5日に「あきまつり」を開催しました。外壁工事中で園庭が使えないため、館内に本物の紅葉やいちよの葉で飾りつけをしました。また、キックターゲット、紙袋のデコレーション、ワッフルづくりなどのアトラクションを楽しみました。皆さんの笑顔に囲まれながら、運動と芸術、食欲の秋を満喫した一日になりました。

また、11月22日と25日には、コロナ禍で延期になっていた成田山への1日旅行を実施しました。両日とも天候に恵まれ、紅葉の綺麗な境内を散策した後、参道のうなぎ屋さんで本格的なうなぎを舌鼓。久々の仲間同士での外出、外食を堪能し、皆さんとても満足された様子でした。



(瀬楽)

みどり園



11月18日に成田ゆめ牧場のキッチンカー「ゆめこちゃん」がみどり園に来園しました。

「何か食事に関して楽しんでもらえることは出来ないだろうか？」給食委員で話したと

ころから、ゆめこちゃん来園イベントは始まりました。食事はもちろん、ゆめこちゃんは見ただけでも可愛いので、利用者さんを見て、食べて、楽しめるはず。ゆめこちゃん以外は考えられませんでした。

ゆめこちゃんは主に球場等、大きな場所をメインに出張しているとお聞きしていましたが、今回施設に来園していただく上で、成田ゆめ牧場さんには、大変丁寧な対応をして頂き感謝しております。

そして、今回のキッチンカーに係る経費は、保護者会からご助成をいただきました。保護者の皆様に感謝を述べさせて頂くとともに、保護者の方々のご協力があつて、日々の利用者さんの生活が成り立っているのだと改めて感じております。

当日は着ぐるみとの写真撮影等、皆さん楽しんでる様子が伺え、企画して本当に良かったと思っています。(松田)



代宿地域支援センター

10月1日。澄み渡る秋空の元、代宿地域支援センターでは秋祭りを実施しました。例年行われていた代宿地区の夏祭りや秋の例祭など新型コロナウイルスの影響を受け、利用者が楽しみにしていたイベントが今年も次々と中止や延期となりました。そんな中、「利用者

が明るく元気に楽しむ姿を見たい」という思いから、当センターで初めて秋祭りを企画しました。祭りの飾り物など職員が一丸となり、準備を進めました。午後5時からスタートした秋祭りは、会食から始まり、焼きそばやたこ焼き、焼き鳥といった縁日でおなじみのメニューを口いっぱい頬張られていました。夕日が赤く代宿の丘を染め、徐々に辺りが暗くなつてから、炭坑節やソーラン節といったおなじみの音楽と共に、煌びやかな装飾を施した手作りのやぐらの周りをみんな楽しんで踊りました。締めは、花火です。花火大会の中止が相次ぐ中、手持ち花火を一緒に行うなど、大いに楽しめました。初めての取り組みで、不十分なところはありましたが、利用者・職員皆が怪我や事故なく共に楽しむことができました。(若菜)



梨香園



梨香園では令和4年7月5日(火)、10月3日(月)、10月28日(金)の3回に分けて神奈川県江の島方面へ日帰り旅行に行ってきました。お昼は江の島の海鮮料理に舌鼓を打ち、その後新江ノ島水族館を散策しています。限られた時間ではありましたが、久しぶりの遠出ということもあり、皆さん終始笑顔が多く見られていました。梨香園には車椅子を使用されている方もいて、リフト付きの観光バスを借りての旅行となります。皆と一緒に掛けられることが何よりも嬉しく、楽しいと感じられる旅行であったと思います。

コロナ禍での日帰り旅行は今回で2回目となります。昨年度に比べ、人の往来も増えている印象で、世間はマスクコロナに向けて動いていると改めて感じました。コロナウイルスも第8波に入り、気の抜けない毎日ではありますが、利用者皆さんの皆さんが充実した毎日を送れるように私たちも日々支援に当たりたいと思います。(森川)



学園祭



学園祭の開催を迎えるにあたり、夏前から少しずつ準備が始まりました。大久保学園では10月中旬より大規模な厨房工事が予定されており、今回は工事中に学園祭の開催となりました。「食」というのは日常でもイベントにおいても、大切な楽しみの1つだと思います。学園祭のメニューについても係一同頭を悩ませ

ましたが、初めての試みとしてCoCo壱番屋さんに新店をお願いすることにしました。

近年、利用者の方の高齢化も進んできており、美味しい食事を安全に食べてもらうことは課題として大きなウエイトを占めるようになってきました。

そのため、CoCo壱番屋の方とも電話やメールだけに限らず、実際に試作品を持って足を運んでいただき、打ち合わせを重ねました。

当日は600名以上の参加者を迎え、秋晴れの学園祭を開催することが出来ました。皆さんが催し物を見ながら食事を楽しまれていてのを眺める時が開催までの苦労が吹き飛ぶ瞬間です。

またたくさんの笑顔に出会えるように、ひとつひとつ丁寧に取り組んでいきます。(下山)

ます。(下山)



寄付金

令和四年八月九日
令和五年二月十六日

〔後援会〕

- 石川清隆・矢作 榮・川嶋奈津子
- 板橋いと子・糸川 昇・七海勝則・浅井崇三
- 塩澤守雄・逆井 保・林 みほ子・小林英三
- 吉内厚子・矢口祐代・井澤勝夫・桐山 昇
- 関 正治・長清健二・中川聖治・植草一夫
- 中村美智子・飯塚 昇・鈴木成子・平塚芳昭
- 矢下春男・大塚勝朗・高橋良夫・徳村都史子
- 渡邊 晃・ムサシ興発(株)・大川勝幸
- 吉田登美子・石川清・來栖 修
- 林園緑地建設(株)・木原勝美・陶山 勲
- 野尻武生・川瀬育子・青木富美子・鈴木初音
- 嶋島英二・根岸正国・白倉美智子
- 中田奈津子・清水生大子・谷口久子
- 中島久志・本澤正行・平田裕太郎・友菊隆志
- 佐藤政子・山田エリカ・高橋 實・中原有希
- 布施義高・奥村 博・平山吉己・西井建二
- 中村迪子・吉田幸男・青柳美和子
- 篠原喜代子・竹原カエ・津浦邦次・林 静子
- 近藤裕昭・岩崎與一・本 忠信・坂元久子
- 其田 操・阪井重次・長田全弘・八林和子
- 岸 利枝・木本恭代・枋堀 勇・根本二夫
- 染谷寛治・大河原敏男・上垣明男・後藤 健
- 石井三喜雄・小淵佳枝・澤田美恵・三澤マサ
- 坂本久美子・宮路美智枝・鈴木キヨ子
- 岩間家具産業・協栄農資(株)・井上正記
- 矢萩成子・平山 實・折田幸二・吉田三郎
- 武正理恵(有)船橋住宅エーゼン・青野孝博
- 村上 亨(株)東進ビルシステム・新山直樹
- 山崎孝子・大竹泰子(有)デザインみぶ
- 栢野芳子(株)エイシノオート・御園生照治
- (株)伊賀屋・岸 勝弘・井奥卓雄・柏木幹男
- 小倉裕子・正路 功・赤上和光・宮平由美子

大塚建工(株)・鈴木葉子・森 博久
大澤征一・千葉共同印刷(株)
(株)サクラ建設工業(株)フリーマン
長谷部健二(株)田辺工務店・矢島弘文
(株)アーキトレイン(株)神原・飯塚浩之
せんち共済(株)・葉山秀雄(株)メフォス

千葉 勉・長澤泰史・大屋和賀子
旭建設(株)・安部明寛・栗原 厚・秦野愛子
篠 義一・伊藤正春・泉澤正博・並木一夫
(株)グローバル・松丸守久・高安裕子

今西豊彦・矢作 豊・磯野広美・川上久雄
ホシザキ関東(株)・(株)清瀬廣瀬慶入
石塚 渡・岩下てい子・谷口貞雄

長尾景子・石神義久・飯塚三郎・渡邊裕治
伊都一利・上村美保・加藤精一
日下部弘子・鈴木義夫・日暮亜矢子

梅津正信・曾我陽子・川尻儀一・関 福二
米澤頼子・細井 明・柳原憲治
大久保千代子・末延久子・渡邊弘子

中台節子・松丸栄一・樽井イチ子
室井真子・橋本憲一・モデン工業(株)
米倉 聡・星 浩子・片平寛昭

猪久保恵子・橋本直美・山路康一郎
(株)ベルキヤンバス千葉・田内恵子
高橋 緑・齊藤励一郎・島村和美

小野和子・高橋忠幸・多賀谷多恵子
工藤文一・清水龍弥・鶴沢美美子
浅見一郎・平 敏行・高橋靖昭・石川和子

長泉 顕・山口雅司・織本君代・杉本浩司
田中良江・森 孝子・増田敬生
後藤美重子・山下敷男・飯島由美子

松本和子・宮田静子・萩原幸男・溝江雅子
宮崎昌利・村島哲男・吉田 淳・増田武晴
中山明美・加藤和茂・鈴木壽子

洪谷弥恵子・高橋元弘・関澄ちとせ
鈴木直樹・山崎つたい・川崎信義

〔一般〕

- 仙石信夫・齊藤美江子・梨本美佐緒
- 深山恵子・上條茂樹・貝原幸子
- 白木由利子・和田浩行・青木富美子
- 霊友会(株)イトーヨーカドー我孫子店
- みどり園保護者会・鈴木成子
- 鎌ヶ谷市社会福祉協議会

みどり園祭

令和四年
十月十五日

お祝い金品

関澄ちとせ・菊池 薫

大久保学園祭

令和四年
十一月三日

お祝い金品

- 野尻武生・石川 清・篠 義一・白倉美智子
- 吉内厚子・大久保学園保護者会・内田瑞穂
- 磯部麗子・青木富美子・矢下春男・七海勝則
- 本澤正行・奥村 博・大川勝幸・大塚勝朗
- 長尾景子・田中みどり

ありがとうございます
(敬称略)

はばたき 二〇三三 九七号

発行所/令和五年三月
発行所/社会福祉法人 大久保学園

TEL 〇四七(四五七) 二四六二
FAX 〇四七(四五七) 四〇六九
URL http://www.okuboogakuen.or.jp
Mail shienka@okuboogakuen.or.jp

編集/大久保学園 広報委員会
表題書/中原 強